

1.研修プログラムの名称

小児科・思春期科研修プログラム

2.研修概要（理念・特徴）

チーム医療の一員として特殊疾患を含めた研修と一般外来における小児・思春期領域の基礎知識の確立を目指した研修の両者を有機的に行えるよう配慮し、成長・発達段階にある特異性を理解し最低限の小児・思春期患者の医療を、自信を持って行えるようにする。

3.到達目標

将来の専門性にかかわらず、新生児と小児科の日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

新生児と小児医療の地域的な役割を理解する。

1) 特定の医療現場の経験

救急医療の場において、バイタルサイン・重症度および緊急度の把握・ショックの診断と治療二次救命処置（ACLS=Advanced Cardiovascular Life Support、呼吸・循環管理を含む）ができる

5.指導体制・方略

評価法

- 月末の研修報告会（火曜日・金曜日）における発表と指導医による評価
- PG-EPOC による評価

研修医は病棟の3または4ミットに1ないし2人ずつ、4から8週間研修を行う。

当直は週1回行う。翌日は午前より勤務をはずれる。

外来研修

指導責任者：山崎 崇志 准教授

研修中に別記の項目について講習をうけることとする

外来は8時20分に集合

病棟研修中に下記の項目を行うこととする

- 1) 点滴、静脈注射、採血、腰椎穿刺
- 2) 問診
- 3) 診察
- 4) 治療計画に参加
- 5) レポート作成
- 6) グループ検討会
- 7) 骨髄像（見学）
- 8) 脳波
- 9) 腎生検（見学）
- 10) 心臓カテーテル（見学）

研修医の指導 オリエンテーション 山崎准教授

外来陪席並びにクルズスにて一般小児診療技術を学ぶ

6.週間予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 10:00～ 教授回診 病棟	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 9:00～ 外来・病棟
午後	13:00～ 呼吸器外来 発達外来 病棟	13:00～ 外来 乳児健診 病棟	13:00～ 循環器外来 発達外来 病棟	13:00～ 予防接種 外来 病棟	13:00～ 乳児健診 病棟	
夜間		17:00～ 医局会 カンファランス	グループ カンファランス 宿直	グループ カンファランス	グループ カンファランス	

7.研修活動

8.評価

- 1) 研修医自己評価
患者記録表、教育的行事の参加記録並びに経験記録表に記録する
PG-EPOC を用いて自己評価を行う
研修事後レポートを用いて自己評価を行う
- 2) 指導医による評価
PG-EPOC を用いて評価する
研修事後レポートより評価する
- 3) コメディカルによる評価
PG-EPOC 又は評価表を用いて評価する
他者評価表を用いて評価する
- 4) 研修医による評価
PG-EPOC を用いて指導医（上級医）、診療科・病棟、研修医療機関、プログラムを評価する

9.その他特記事項

10.研修中に作成する病歴要約

（**赤字**必ず作成する、**太字**可能なかぎり作成する、他 対象疾患を診察したら作成する）

経験すべき症候

発疹、黄疸、**発熱**、頭痛、けいれん発作、呼吸困難、下血・血便、**嘔気・嘔吐**、腹痛、
便通異常(下痢・便秘)、関節痛、運動麻痺・筋力低下、**成長・発達の障害**

経験すべき疾病・病態

肺炎、急性上気道炎、**気管支喘息**、急性胃腸炎、消化器性潰瘍、肝炎・肝硬変、腎盂腎炎